

報道関係各位

平成27年11月26日
国立大学法人 東京医科歯科大学

東京医科歯科大学が日本で初めて設置が認められた 国際共同学位（ジョイント・ディグリー）プログラムを チュラロンコーン大学（タイ王国）と開始

●ポイント

- 東京医科歯科大学、チュラロンコーン大学が連携し、歯学、特に歯科矯正学の分野に特化した一つの大学だけでは提供できない魅力ある新たな体系のプログラムを構築する。
- 5年間の標準修業年限内で、学位取得に向けた質の高い研究と、歯科臨床専門医レベルの高度専門的医療人としての技術を身につけられるカリキュラムを提供する。
- 国際的リーダーになりうる高度の専門的医療人すなわち、臨床歯学・歯科医療の本質を理解したプロフェッショナルであるとともに研究者としての視点・資質をも有する人材を育成する。

国立大学法人東京医科歯科大学はグローバル人材育成の観点から、海外の大学と共同で大学院教育を行い連名で一つの学位を授与するジョイント・ディグリープログラムを開設します。文部科学省により平成27年6月15日付けで、日本で初めて設置が認められたことから、チュラロンコーン大学と「ジョイント・ディグリープログラム開設に関する協定」を締結して大学院プログラムを開設し、平成28年8月から学生を受け入れます。

●東京医科歯科大学のグローバル教育について

本学は基本理念の1つである「国際性豊かな医療人の養成」に基づき、単に語学力や専門分野に関する英語のみでなく、国際社会のリーダーとして活躍できる人材に必要な思考力などの涵養も踏まえた学習機会を提供しています。

学部教育の取り組みとしては、リーダー養成のための英語選抜プログラムである「ヘルスサイエンスリーダーシッププログラム(HSLP)」が2013(平成25)年度よりスタートしています。少人数による完全英語履修でのHSLPは、ケースメソッドを使用し、問題解決力や批判的・創造的思考力、リーダーシップスキルなどを磨くようカリキュラムが組まれています。

大学院教育では、完全英語履修の「グローバルヘルスリーダー養成コース(修士/博士)」を新設します。日本国内はもちろん、アジア諸国から優秀な学生を募り、国際的な医療機関、研究機関などで活躍できる人材の育成を目指します。

「スーパーグローバル大学創成支援(タイプA:トップ型)」に採択されている本学は、世界に冠たる医療系総合大学を目指して、更なるグローバル化の推進を図ります。

●チュラロンコーン大学と本学の関係、実績、現状

- ・本学は、タイからすでに100名以上の留学生を受け入れ、その中から国立大学のシーナカリンウイロート大学やナレスワン大学の歯学部長を輩出させた。なかでも、チュラロンコーン大学と本学との交流は20年以上に及び、平成3年に歯学部間で学術交流協定が締結され、東南アジア歯科公衆衛生研究プロジェクト(JICA)、若手研究者交流支援事業といった各種事業を展開してきた。
- ・このような大学間交流をさらに発展させ、両大学の研究・教育の協力体制を強化するとともに、東南アジアの医学・歯学・生命科学の拠点となることを目指して、平成22年11月、チュラロンコーン大学内に「チュラロンコーン大学ー東京医科歯科大学研究教育協力センター(CU-TMDUセンター)」を開設した。
- ・CU-TMDUセンターのスペースはチュラロンコーン大学から無償で提供(無償は本学のみ)されるなど、チュラロンコーン大学も非常に協力的である。
- ・チュラロンコーン大学との学生交流については、以前から行っていたが、特に平成24年度からは「世界展開力強化事業」により広く医学部、歯学部の学生交流を推進し、学生の国際性涵養の場として活用しており、この「世界展開力強化事業」は高い評価を受けている。
- ・チュラロンコーン大学歯学部の教員育成に関しては、教員数179名(平成26年度現在)うち、78名がPh.D取得者であるが、このうち40名が本学でPh.Dを取得した。
- ・このような従来の実績に加え本学がQS世界大学ランキング歯学部門で世界6位になったことを背景にチュラロンコーン大学の要請をうけ、本学とチュラロンコーン大学は、本学大学院の優れた研究教育とチュラロンコーン大学の臨床教育の強みを生かした国際連携歯学系選考プログラムを設立することとした。

- ・この歯学系プログラムは、日本でもタイでも初めてのプログラムであり、東南アジアの周辺諸国も強い関心を示している。

●プログラム概要

名 称： 東京医科歯科大学・チュラロンコーン大学国際連携歯学系専攻

運 営： 両大学が共同でカリキュラムを運営

入学定員： 3人

出願資格：(1) チュラロンコーン大学の歯科外科学 (GPA = 3.25 以上)、または、
両大学の教員で構成される選考委員会の承認を得た者
(2) 歯学部を卒業後、少なくとも1年間の臨床経験を有する者
(3) TOEFL550 以上又は IELTS6.0 以上の成績を志願日の直近の2年以内で取得した者

修業年限： 5年

論文審査： 東京医科歯科大学、チュラロンコーン大学教員の合議体で審査

学 位： 博士(歯学)【1枚の学位記を東京医科歯科大学とチュラロンコーン大学が連名で授与】

奨学金： 両国の奨学金制度を活用する。

●養成する人材像

歯学分野、特に歯科矯正学において日本・タイ王国のみならず広く東南アジア等で同分野の優れた知識、技術を有し国際的リーダーになりうる研究心旺盛な高度専門医療人

●期待される効果

世界大学ランキングトップ100を目指している本学にとって、海外大学と連携して質の保証を伴った魅力ある国際共同プログラムを開設し、大学の国際競争力を強化することは、本学が機能強化を図る上で重要な戦略の一つである。

タイを中心とした東南アジア諸国では、一般的な不正咬合を有する患者に加え、唇顎口蓋裂をはじめとした矯正治療を必要とする先天異常患者が多く存在するため、これに対応できる歯科臨床医、歯学研究者などの高度専門医療人の養成が急務となっている。

タイ王国での博士号取得者は、まだ少なく、大学などの高等教育機関の教育者でも博士号未取得者が多いため、社会的な要請に対応できる高度専門医療人を養成する必要がある。

本プログラムは、東京医科歯科大学の質の高い研究指導力とチュラロンコーン大学の歯科臨床カリキュラムを融合させ、それぞれの大学が有する教育資源を活用し、一つの大学だけでは提供できない魅力あるプログラムを構築する。

【チュラロンコーン大学】

- ・ 1917 年設立（98 周年）、首都バンコクの中心地に所在
- ・ タイで最初に設立されたタイを代表する国立大学
- ・ QS 世界大学ランキング 2015-2016
総合 253 位、医学分野 151-200 位
（TMDU：総合 391 位、医学分野 101-150 位、歯学部門 6 位）
- ・ 19 学部、10 研究所を有する総合大学

【共同学位（ジョイント・ディグリー（JD））】

連携する大学間で開設された単一の共同の教育プログラムを学生が修了した際に、当該連携する複数の大学が共同で単一の学位を授与するもの。今般の大学設置基準等の改正により可能となる JD は、所定のプログラムの修了者に対し、連携する外国の大学との連名による学位の授与を認めることとするもの。

『我が国の大学と外国の大学間におけるジョイント・ディグリー及びダブル・ディグリー一等国際共同学位プログラム構築に関するガイドライン』より